

第6学年2組社会科学学習指導案

日時 令和2年11月26日(木) 14:30~15:15

場所 6年2組教室 指導者 小林貞幸

1. 単元名 国際連合と日本の役割 ~世界平和を希求する日本国民の1人として~
2. 本単元で目指す資質・能力

本単元では、「グローバル化する世界と日本の役割についてパフォーマンス課題を追究・解決する活動」を通して資質・能力を育んでいく。

ア 知識及び技能	イ 思考力, 判断力, 表現力等	ウ 学びに向かう力, 人間性等
我が国は, 平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり, 諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。	地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して, 国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え, 国際社会において我が国が果たしている役割を考え, 表現すること。	LP (ラーニング・パートナー) の話から社会問題に気付き, 解決に向けて学習計画を立てようとする。また, そのための活動 (調べ学習や対話など) に最後まで取り組み, 自分の意見を形成しようとする。

3. パフォーマンス課題とルーブリック評価表

私たちは世界の現状を知り, 世界平和の実現に向けて考えていく必要があることを痛感した。日本国民の1人として, 日本の役割を見直し, 日本政府に意見・提案しよう!

ルーブリック評価表(意見文・提案文)

	考慮した立場の数	根拠の明確さ	解決の可能性
	2つ以上(困っている人たち, 国際的に働いている人, 日本政府, 日本国民)	学習してきたこと(政治・歴史)や調べたこと(資料)を生かし, 自分の考えを論理的に述べている。	納得できるような内容である。「なるほど!」をもらえるか。
	2つ(困っている人たち, 国際的に働いている人, 日本政府, 日本国民)	学習してきたこと(政治・歴史)や調べたこと(資料)をもとに, 自分の考えを述べている。	賛同できるような内容である。「いいね!」をもらえるか。
	1つ(困っている人たち, 国際的に働いている人, 日本政府, 日本国民)	漠然と自分の考えを述べている。	理解できるような内容である。「分かる!」をもらえるか。

4. 単元の構想

児童の意見を取り入れるためのきっかけとして, 教師側からLP (ラーニング・パートナー, 以下LP) に話を促す(図1-1)。LPとは, 児童と共に学ぶ人を想定しており, 時には専門的な知見から意見することができる有識者であったり, 時には社会に出ている先輩であったりする。本単元では, LPを佐賀県庁国際課の方々とNPO法人の方に協力をお願いをしている。まず, LPの具体的な話から「紛争は, 今でも起きているんだ」「子供兵として働いている同世代の人がいる」など, 児童自身が社会問題に気付き, 疑問や予想を抱くことができるようにし, その共有を図る(図1-2)。

そして, イメージマップを作り, 学級全体の思考の可視化を図る(図1-3)。そのマップを見ながら, 児童は学習計画を立て, パフォーマンス課題を設定する。児童の意見を取り入れながら, 単元の計画を作っていくことで自分事とした学びが展開できるようにする(図1-4)。

調査には, 教科書や資料集を主に活用する。必要があれば, インターネットを活用したり, 家の人に尋ねたりするであろう。自分事として問いをもっているからこそ, 自分で情報を収集したり取捨選択したりしながら, 調査したい内容にたどりつくと考えている。例えば, 「なぜ, 紛争は今でも起きているのか」という社会問題から調べていくと, その原因の1つは資源の奪い合いであることにたどりつく。すると, 「資源の奪い

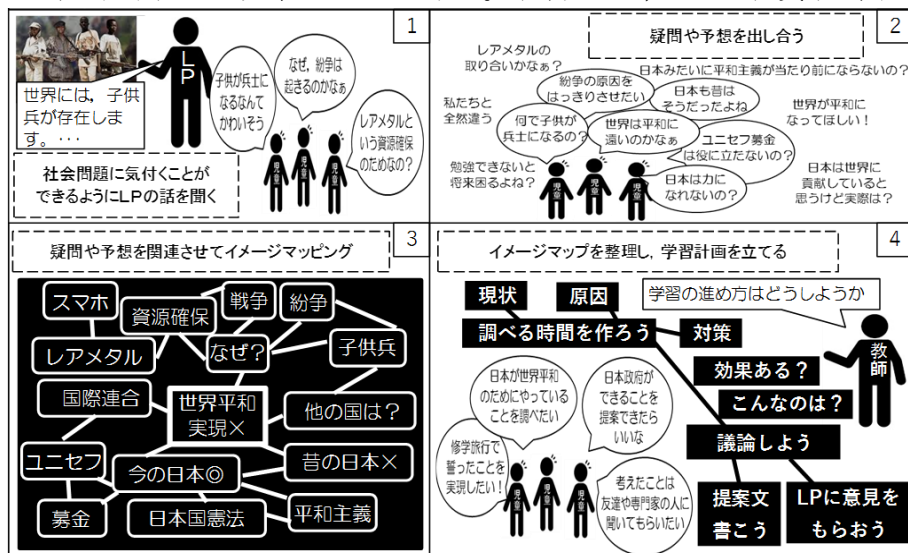


図1 自分事として学びを展開させるイメージ

図1-4)。

調査には, 教科書や資料集を主に活用する。必要があれば, インターネットを活用したり, 家の人に尋ねたりするであろう。自分事として問いをもっているからこそ, 自分で情報を収集したり取捨選択したりしながら, 調査したい内容にたどりつくと考えている。例えば, 「なぜ, 紛争は今でも起きているのか」という社会問題から調べていくと, その原因の1つは資源の奪い合いであることにたどりつく。すると, 「資源の奪い

合いの原因は何なのか」となるであろう。最終的には、それぞれの利益のために資源の奪い合いが起きているということを知ることになる。では、児童は、どのように解決策を考えるであろうか。自分なりに考える児童や、世界や日本政府が取り組んでいることを調べる児童がいるであろう。「資源を分け合うことができるように全世界が条約を結んだらどうだろうか」「多くの企業が紛争鉱物の使用を禁止しているそうだ。このルールを徹底していけばよいのではないか」などと考えていくことを期待したい。このように、パフォーマンス課題に対する考えをもてるようになってきたときに議論の場を設定する。今回は、社会的事象の見方・考え方を働かせるための1つの手立てとしてLPを招く。議論の場では、LPと友達から意見をもらうことで、考えをよくしていくことをねらいたい。「よく」とは、実現に近づくように、説得力や具体性が増すことと考えている。

単元の終末では、調査や議論を通して形成してきた自分の考えを意見文にする。その意見文には、問題点・その原因・その解決策を書くこととなる。単元当初に示したルーブリック評価表を活用し、多角的に文章を書いたり、根拠を示したりすることができるようにする。書いた意見文はLPに届けたり、関係諸機関に送ったり、保護者に配布したりする。外部から評価をもらい、児童へ返すことで、社会参画の意識を次時へとつないでいく。

5. 本時の指導 (7/10)

(1) 目標






世界平和に向けて、他の児童やLPと議論する活動を通して、多角的に考えたり、社会問題と原因と解決策を関連付けたりしながら、自他の考えをよくすることができるようにする。

(2) 評価規準

イ 自他の考えについて、多角的に考えたり、社会問題と原因と解決策を関連付けたりしている。

ウ 自他の考えをよくしようと、発言したり、アドバイスカードへ記入したりしている。

(3) 展開

学習活動と児童の反応 (◁ ◻ ▷)	教師の働きかけと形成的評価 (◆)
1 めあてをつかみ、活動を見通す。 (5分)	1 LPの紹介をし、議論しながら自他の考えをよくしていくことを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自他の考えをパワーアップしよう！</div>	
2 議論する。 (35分) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px 5px; font-weight: bold;">紛争</div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px 5px; font-weight: bold;">資源</div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px 5px; font-weight: bold;">貧困</div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>僕は、「貧困」の問題を解決したいです。5才までに命を落とす子供たちが1年間に約560万人いるそうです。「貧しいために十分な医療を受けられない」からだと分かりました。それを解決するためには、豊かな国が協力して、医療支援をするべきだと思います。現地に、医者を派遣し、無料で診察をしたらどうでしょうか。</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>「医者を派遣すること」よりも、その国が自分たちで「医者」を増やすことができるようにサポートする方が、将来的によいのではないかと私は思います。</p>  </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>確かにAさんの言うように、医療支援はするべきだと思います。それに加え、Bさんのように、その国が豊かになるようなサポートをすることが大事です。JICAという人たちが、そのような仕事をしていますよ。</p>  </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>JICAのような取組をする人たちが応援するような日本政府のサポートがあれば、もっと広がるかもしれないと思いました。</p> </div>	2-(1) 考えが分かるように、主張を明確にし、根拠やその理由を述べるように促す。 2-(2) 自他の考えをよくするためにアドバイスカードへ記入することを伝え、発言ができない場合のでのがんばりを認めることができるようにする。 2-(3) 考えを深めることができるように、他の児童やLPに話を振り、発言を促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆自他の考えについて、多角的に見たり、原因と解決策を関連付けたりしながら、考えている。【思】(発言・アドバイスカード記述) B 違う立場で考えたり関連付けたりして、意見を表出している。 → 実現可能かどうかなどの揺さぶりをかける</p> </div> 2-(4) LPには、「実現可能性」の視点で助言をもらえるように、発言を促す。児童が社会的事象の見方・考え方を働かせた場合は、称賛し、価値付ける。 2-(5) 比較したり、関連付けて考えたりすることができるように整理して板書し、思考の可視化を図る。
3 振り返る。 (5分) <div style="margin-top: 10px;">  <p>自分の意見文に説得力が増しそうだ。意見をもらえてよかった。</p> </div>	3 ワークシートに振り返りを書くことで、次時の見直しをもてるようにする。

